

安全データシート

1、製造者情報

製品名 (化学名、商品名) : アルカリ洗剤用中和剤
製品説明 (種類) : 酸性
用途 : アルカリ洗剤の中和剤
会社名 : 株式会社サンワード
住所 : 〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-8-15
千代田NSOビル
主管部門 : 研究開発部
電話番号 : 03-3865-7391(代) FAX : 03-3865-7392
整理番号 : 8001-04

2、危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響:

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性固体 : 区分外
自然発火性固体 : 区分外
水反応可燃性化学品 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分外
皮膚腐食性/刺激性 : 区分外
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分2A
生殖細胞変異原性 : 区分外
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)
: 区分3 (気道刺激性)

特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)
: 区分外

環境に対する有害性

水生環境有害性・急性 : 区分外
水生環境有害性・慢性 : 区分外

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告
危険有害性情報 : 強い眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

【安全対策】 : 粉じん、ミスト、蒸気などの吸引を避ける。
換気の良い場所でのみ使用する。
適切な保護眼鏡、保護手袋、保護衣、保護面、保護マスクを着用する。

【応急処置】

吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪いときは、医師の診察を受ける。

眼に入った場合：水で注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を流水で取り扱った後、手で洗う。

【保管】：容器を密閉して、夏季は涼しい場所、冬季は、5℃以上の換気のよいところで保管する。

【廃棄】：内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。

3、組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：単一製品
化学名又は一般名：有機酸
官報公示整理番号（化審法）：2-1318
官報公示整理番号（安衛法）：公表
CAS No.：5949-29-1

4、応急措置

飲み込んだ場合：直ちに水を飲ませる。必要に応じ医師の処置を受ける。

眼に入った場合：水で注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪いときは、医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を流水で洗う。
直ちに医師の処置を受ける。

5、火災時の措置

消化剤：水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡
使ってはならない消化剤：特になし
特有の消火方法：速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護：消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6、漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：作業には、必ず保護具（手袋、眼鏡）を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉じんを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。必要に応じ換気を確保する。
環境に対する注意事項：流失した製品が河川などに排出され、環境への影響をおこさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
回収、中和：飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

7、取り扱い及び保管上の注意

取り扱い
技術的対策：皮膚につけたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。
注意事項：みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取り扱う。

保管

適切な保管条件：容器を密閉して換気のよい場所で保管する。（25℃以下）
安全な容器包装材料：ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8、暴露防止及び保護措置

設備対策	: 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	
日本産業衛生学会	: 設定されていない。
ACGIH	: 設定されていない。
保護具	
呼吸器の保護具	: 状況に応じて防塵マスクを着用する。
手の保護具	: 不浸透保護手袋
目の保護具	: 安全ゴーグル型保護眼鏡

9、物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	: 結晶または結晶性粉末
色	: 白色
臭い	: 無臭
pH	: 1. 13 (10% 22℃) 0. 86 (20% 22℃) 0. 63 (30% 22℃)
密度	: 1. 52g/ml (20℃)
溶解性	
溶媒に対する溶解性	: 水; 62. 0% (20℃) 有機溶媒; エタノールに易溶

10、安全性及び反応性

安定性	: 通常の条件で安定である。
反応性	: アルカリ性物質と接触すると反応する。
避けるべき条件	: 日光、熱。
混触危険物質	: アルカリ性物質、酸化剤
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素

11、有害性情報

急性毒性	: 経口: 区分外 : 経皮: データ不足のため分類できない。 : 吸入 (蒸気): データ不足のため分類できない。 : 吸入 (粉塵・ミスト): データ不足のため分類できない。 : 多量に経口摂取すると、悪心、嘔吐などを起こすことがある。 : マウス 経口 LD50=5040mg/Kg : ラット 腹腔内注射 LD50=375mg/Kg
皮膚腐食性/刺激性	: 区分外 OECD のガイドラインによるウサギ皮膚刺激性試験では刺激性はなく、紅班や浮腫はみられなかった。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: 眼に対して強い刺激性がある (区分 2A) OECD のガイドラインによるウサギ皮膚刺激性試験では強い眼刺激性があり、結膜炎が観察された。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性: データ不足のため分類できない。 皮膚感作性: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: 区分外 経世代変異原性試験 (優性致死試験) で陰性

発がん性 : データ不足のため分類できない。
生殖毒性 : データ不足のため分類できない。
ラットの二世世代生殖試験で生殖能に悪影響は認められない。また、ラット、ウサギおよびハムスターの器官形成期に暴露した試験で、いずれの動物種とも催奇性を仔の発生に悪影響は示されていない。

特定標的臓器・全身毒性一単回暴露 : 呼吸器への刺激のおそれ (区分3)
吸入暴露によりイヌおよびモルモットで気管支収縮、ヒトおよびモルモットで咳の発生が報告されている。

特定標的臓器・全身毒性一反復暴露 : 区分外
ラットを用いた経口暴露試験で、2260mg/Kg/day を6週間暴露 (90日補正値: 1043mg/Kg/day) で影響なく、2年間経口暴露試験のNOAELは、1200mg/Kg/day、さらに1.2%(600mg/Kg/day) 1年間経口暴露でもほとんど悪影響はなかった。

吸引性呼吸器有害性 : データ不足のため分類できない。

1 2、環境影響情報

生態毒性
魚毒性 : 水生毒性 (急性) : 区分外
水生毒性 (慢性) : 区分外
魚毒 (ブルーギル) LD50=1516mg/1/96H
残留性/分解性 : データなし
生態蓄積性 : データなし

1 3、廃棄上の注意

廃棄方法 : 関係法令を遵守し、適正に処分すること。処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た産業廃棄物業者に処理を委託する。
汚染容器・包装 : 空き容器を廃棄処理する場合は、内容物を完全に除去し関係法令を遵守し、適正に処分すること。容器は再利用しない。

1 4、輸送上の注意

国内規制 : 適用法令なし。
国連分類 : 分類基準に該当しない。
輸送の特定の安全対策 : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

1 5、適用法令

化学物質管理促進法 : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当

1 6、その他 (記載内容の問い合わせ先、引用文献等)

全ての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れが有るかも知れません。
また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。
重要な決定にご利用される場合は、試験によって確かめられることをお勧めします。
なお、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。
また、注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、この点に配慮をお願いします。